

忙しくても 家族で食べる習慣を

では、家族そろって朝食を食べていますか？

それぞれの生活リズムがあり、気が付いたらいつもバラバラに食べているという方も多いのではないのでしょうか。調査によると、家族と一緒に食事をするのがほとんどないと答えた方は、夕食では4・3%だったのに対し、朝食では20・2%ととても多くなっています。※2

家族がバラバラに食事をする、ひとりぼっちで食事をする孤食、それぞれが違う物を食



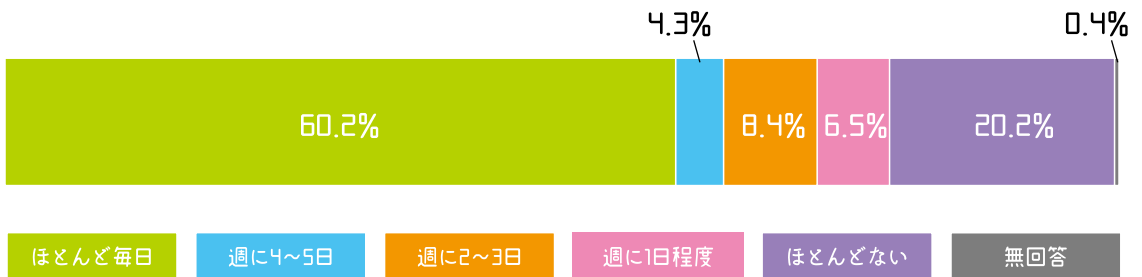
べる個食が増えてしまいます。孤食や個食が増えると、好きな食べ物ばかり取るようになり、栄養の偏りが出てしまいます。また、子どもには食べさせているけれど、親は忙しくて食べないという話も聞きますが、母親が朝食を食べないと、将来子どもも朝食を食べなくなる傾向があることが分かっています。

家族そろって同じ物を食べるということは一番大切な食育です。子どもはみんなで同じ物を食べることで、食事とは好きな食べ物を取るのではなく、出された物をありがたういただくこと、と理解します。そこから協同性を学び、食事のマナーも学びます。大人が苦手な物を食べる姿を見て、子どもも一口食べてみる。そうやって味に慣れて、好き嫌いも少しずつ減っていきます。そして何より、みんなで食べることで、食事が楽しくなり食べるのが好きになります。

食事の時間は家族のコミュニケーションの時間です。1日ほんの30分でも食卓を囲むことで、1週間で3時間半、1カ月で15時間もの時間を共に過ごすことになります。朝、家族で顔を合わせる時間ができることで、悩みや喜びなど、日々の変化を見逃さずに過ごすきっかけにもなるのではないのでしょうか。

それぞれが忙しい毎日ですが、家族が生き生きと生活していくために、そして子どもの成長のために、ぜひ、家族そろっての朝食の時間を大切にしてくださいと思います。

朝食の 共食頻度



夕食の 共食頻度



※2 農林水産省「食育に関する意識調査報告書」2018年3月(対象は全国20歳以上。回答総数1587人)

